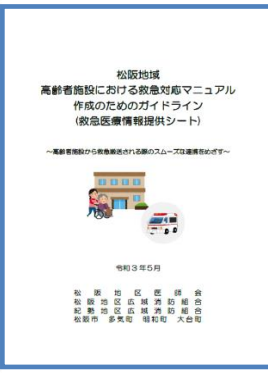
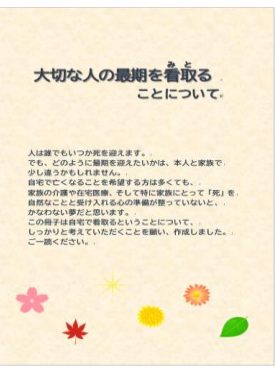


令和6年度 松阪市地域包括ケア推進会議 事業報告							
事業名	目的・内容	構成メンバー	日 程		場 所	参加数	内 容
地域包括ケア 推進会議 (平成26年度～)	【テーマ】 地域包括ケアシステムのさらなる推進 ～松阪らしい地域共生社会構築への取組～ 住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らすため、医療と介護を一体的に提供できる仕組み等を協議する、市の全体会議	委員36名 医師、歯科医師 薬剤師、看護師 リハ職 歯科衛生士 栄養士、包括 介護支援専門員 介護職、ワーカー 民生委員・児童委員 自治会長、住民代表 警察消防 保健所長等	第1回	令和6年7月12日	松阪地区 医師会館 (ハイブリッド 開催)	委員 27名 (会場25名 Web式2名) 傍聴 4名 (会場1名 Web3名)	報告 ①令和5年度 高齢者支援課における新規事業 高齢者支援課 藤牧 協議事項『コロナ禍での医療現場や在宅での状況や気づき、今後の課題について』 ・話題提供 ①医師の立場から捉えた状況、課題 桜木記念病院 院長 志田幸雄 氏 ②歯科衛生士の立場から捉えた状況、課題 口腔ケアステーション 近田紀子 氏 ③理学療法士の立場から捉えた状況、課題 花の丘病院 理学療法士 森井慎一郎 氏 ・意見交換 ・総評
			第2回	令和6年11月8日	松阪地区 医師会館	委員 26名 (会場26名) 傍聴 5名 (会場5名)	報告 ①認知症初期集中支援チームの取組 高齢者支援課 藤牧 ②民生委員・児童委員の活動について 民生委員・児童委員 小林正則 氏 協議事項『認知症の人と家族を支える地域支援体制と連携について』 ・話題提供 ①共生社会の実現を推進するための認知症基本法について 佛教大学 准教授 長友薫輝 氏 ②「チームオレンジ」の推進と松阪市の取組 高齢者支援課 村林万穂 ③認知症の人と家族の思い 認知症の人と家族の会 三重県支部松阪地区世話人代表 長島秀子 ④地域で生活する認知症の方と家族への支援と課題 第四地域包括支援センター 管理者 秦智浩 氏 ・意見交換 ・総評
			第3回 (予定)	令和7年2月14日	松阪地区 医師会館 (ハイブリッド 開催)	委員 名 (会場 名) (web 名) 傍聴 名 (会場 名 Web 名)	報告 ①令和6年度事業報告 協議事項『松阪地域高齢者施設における救急対応マニュアル作成のためのガイドラインの活用について』 ・話題提供 ①「松阪地域高齢者施設における救急対応マニュアル作成のためのガイドラインの活用について」アンケート結果報告 在宅医療・介護連携拠点 齋藤恵子 ②高齢者施設での救急搬送にかかる現状と課題について 南勢カトリック ケアハウス施設長 川上剛志 氏 ③松阪市の救急搬送の現状や実績、課題について 松阪地区広域消防組合 救急課長 島佳嗣 氏 ・意見交換 ・総評
多職種勉強会 (平成26年度～)	地域の医療介護関係者の 連携向上をめざし、医 療介護関係者のための 研修(グループワーク等) と交流を行う	介護・医療・福祉・生 活に関わるさまざま な専門職及び関係者	第20回	令和6年8月19日	Zoom配信 (松阪市役所 より)	オンライン 開催 最大ログイン 数107	「そのお薬減らせる？在宅の服薬管理」 ・話題提供 ①在宅の服薬管理の重要性について 西井医院 院長 西井義典 氏 ②在宅における服薬管理の現状 センター薬局済生会病院前店 薬剤師 山本智奈 氏 ・質疑応答 ・ブレイクアウトセッション ・講評
			第21回 (予定)	令和7年2月20日	Zoom配信 (松阪市役所 より)	オンライン 開催 最大ログイン 数	テーマ『看取りを含めた「終末期」を考える』 ・話題提供 ①「在宅における終末期・看取り」 森診療所 院長 中村正嗣 氏 ②「施設における終末期・看取り」 南勢カトリック特別養護老人ホーム 施設長 黒谷晃平 氏 ・質疑応答 ・ブレイクアウトセッション ・講評
			部会	令和6年4月3日、 5月29日、7月10日、 10月9日、11月13 日、12月11日、 令和7年2月5日(予 定)	松阪地区 医師会館 (ハイブリッド)	多職種部会 計6回 延45名	部会長【黒井建志氏(歯科医師)・市川千恵子氏(看護師)】 多職種勉強会の目的である顔の見える関係づくりを推進し、開催スケジュール、研修方法等、内容等、詳細の打ち合わせを行い当日運営を行った。 多職種勉強会の開催前に、勉強会がスムーズに有意義に進行できるよう発表者と事前打ち合わせを行った。
まつさか医療～ 顔の見える連携 部会 (平成28年度～)	入退院に関わるサービス 提供がスムーズに進む ための医療と介護関係 者による協議	推進会議委員、3師 会、松阪急性期病院 の入退院調整に関わ る職員等	部会	令和6年8月21日、 12月12日(全2回)	松阪地区医師 会館(ハイブ リッド)	計2回22名	部会長【青木浩乃氏(主任介護支援専門員)、奥村裕司氏(医療ソーシャルワーカー)】医療介護従事者がより良い連携をとるための「松阪地域 医療と介護の連携ハンドブック」更新にあたり冊子の内容の確認、修正等の下準備を行った。
			会議	令和6年11月12日	松阪地区医師 会館(ハイブ リッド)	27名	①講義「地域共生社会の実現に向けて～医療と介護の連携～」佛教大学長友薫輝准教授(地域包括ケア推進会議会 長) ②「松阪地域 医療と介護の連携ハンドブック」の更新にあたり、内容の加筆修正等協議と意見交換
			すずの輪 活用勉強会	①令和6年6月11 日、②17日、③7月 23日	①Web②嬉野 社協③福祉会 館	計3回146名	①訪問看護ステーション管理者 ②ケアマネ協会 ③障がい者自立支援専門部会にむけてすずの輪の活用方法や電 子証明について説明を行った
認知症に寄り添う 部会 (平成28年度～)	認知症支援の課題解決 のための地域支援体制 について、関係者による 協議	推進会議委員、認知症 専門の介護職、包括認 推、認知症の家族の 会、認知症当事者(家 族)等	部会	令和6年12月3日	松阪地区 医師会館	12名	部会長【奥田隆利氏(第四地域包括支援センター長、主任介護支援専門員)】 ・松阪市認知症施策の状況報告(「松阪市認知症初期集中支援チーム」(設置7年目)報告含む) ・認知症施策の充実について ①認知症当事者(家族)の思いを聞く

事業名	目的・内容	構成メンバー	日 程		場 所	参加数	内 容		
多気郡3町と協議・調整 (平成28年度～)	松阪地域在宅医療・介護連携拠点の業務や在宅医療介護連携推進事業について、行政担当者による協議調整		メールにて実施				多気町、明和町、大台町、松阪市の1市3町の担当者と、連携拠点の運営委員会、今後の開催について等、メールによる情報共有を行った。		
地域包括ケア推進会議運営幹事会 (平成26年度～)	地域包括ケア推進のため、全体的な進捗管理 医療介護専門職と行政の協働	推進会議委員、 3師会、ケアマネ、 包括、保健所長、 リハ職、訪問看護、 MSW、市職員等	令和6年4月17日、5月16日、 8月9日、10月1日、12月9日、 令和7年1月17日、3月13日(予定)		松阪地区 医師会館、 松阪市役所、 web参加等	計5回 延91名	地域包括ケア推進会議及び地域包括ケア事業全体に関する進捗管理 今年度はコロナ禍での医療現場や在宅での課題、認知症の人と家族を支える地域支援体制、松阪地域高齢者施設における救急対応マニュアル作成のためのガイドラインの活用についてなどについて協議し、松阪市らしい地域包括ケアシステムの推進、構築に取り組んだ。		
松阪地域在宅医療・介護連携拠点運営委員会 (令和2年度～)	連携拠点による事業が円滑な運営となるための進行管理	医師会理事、 運営幹事会、 行政等	第1回	令和6年7月31日	松阪地区 医師会館、 web開催	13名	松阪地域在宅医療・介護連携拠点の事業、業務内容、すずの輪(松阪地域在宅医療・介護情報共有システム)の利用状況について報告。在宅医療における医療機関の機能調査、すずの輪の活用促進、松阪地域の高齢者の住まいに関するアンケートの協議。松阪市、多気町、明和町、大台町の在宅医療・介護連携推進事業について情報共有。		
市民や関係者への啓発	住み慣れた地域で、高齢者が自分らし安心して暮らすための様々な取組を市民や関係者に広く啓発していく ・講演会 ・ホームページ掲載 ほか    	平成27年7月～	広報まつさか連載		【高齢者の暮らしを考える】令和6年度(第105回～第116回)				
		平成28年12月～	市ホームページ掲載		【松阪市が取り組む地域包括ケアシステム】松阪市役所ホームページトップ画面—高齢者福祉—地域包括ケアシステム(地域包括ケアに関する様々な事業や総合事業に関する事等)				
			DVDの貸し出し制度の周知		【高齢者の虐待や権利擁護】、【在宅での看取り】、【認知症】、【もめんノート】などに関するDVD貸し出し				
		平成28年度～	啓発冊子の作成と配布、 各種メディアの紹介等	平成28年度～		・【松阪地域高齢者施設における救急対応マニュアル作成のためのガイドライン(救急 医療情報提供シート)】(令和3年5月作成)救急搬送時に急性期病院医師が必要としている情報は何かのか理解・共有し、高齢者施設から必要な情報を搬送先の急性期病院に届けることのできる書式、ガイドラインを作成。 高齢者施設における救急対応マニュアル作成のためのガイドライン活用勉強会(令和3年9月16日) 令和7年度更新にあたり、6月～7月にかけて高齢者施設に活用状況のアンケートを実施した。 ・【在宅医療を考える】(A5版、79ページ) ・【大切な人の最期を看取ることについて】(B5版、18ページ)令和5年度改訂 ・【もめんノート】(A4版26ページ):高齢者支援課、各地域振興局地域住民課、各地域包括支援センターなどの窓口にて書き方の説明をしながら配布。令和6年4月1日～令和6年11月末までの配布数:1,276冊(総合計16,447冊)。 包括や市の教室等で紹介や書き方講座を開催(令和6年4月1日～令和6年11月末まで:書き方講座36回、市主催の教室でのPR10回) ・【認知症ハンドブック】第4版(A4版、12ページ) 令和6年4月から令和6年11月末までの配布数:約3,925冊			
				平成30年度～	タ刊三重掲載		シニア玉手箱6月号・11月号(もめんノート)、2月号(お元気応援ポイント)、10月号(高齢者ボランティアポイント事業「ささえさん」) 高齢者の社会参加と介護予防活動を応援		
		メディアサポ掲載			令和6年秋号 地域包括支援センター紹介				
		令和6年10月14日	農業屋 コミュニティ文化センター	260名	松阪市在宅医療市民講演会「落語で楽しく学ぶ人生会議～人生笑顔で笑(エ)ンディング～」 第一部:創作落語「天国からの手紙」講師:行政書士・社会人落語家 天神亭きよ美さん 第二部:対談「あなたと大切な人のために話し合おう」 行政書士・社会人落語家 生島清身さん 聞き手:三重県介護支援専門員協会会長 奥田隆利さん				
		令和6年9月14日	農業屋 コミュニティ文化センター	404名	松阪市認知症市民フォーラム 映画「オレンジ・ランプ」上映会 39歳で若年性認知症と診断されながらも働きながら講演活動が続けている本人大使丹野智文さんの実話に基づく映画。 若年性認知症の正しい理解を広めるとともに、若年性を含めた認知症の方を地域で支え、安心して暮らせるためにできることを一人一人が考えるきっかけの場とする。				